

2023年度第1四半期 決算補足資料

2023年8月10日



2023年度 第1四半期決算のポイント

(単位：百万円)

	2022年度				2023年度 1Q	対前年度比 1Q
	1Q	2Q	3Q	4Q		
売上高	33,113	33,423	37,843	36,559	37,996	+4,883
営業利益	△553	△645	732	489	227	+780
経常利益	△424	△396	702	213	357	+781
当期純利益	△649	△181	355	391	452	+1,101
売上重量*	75	71	83	77	81	+6

* 2018年度平均を100とした場合の指標

《全体感》

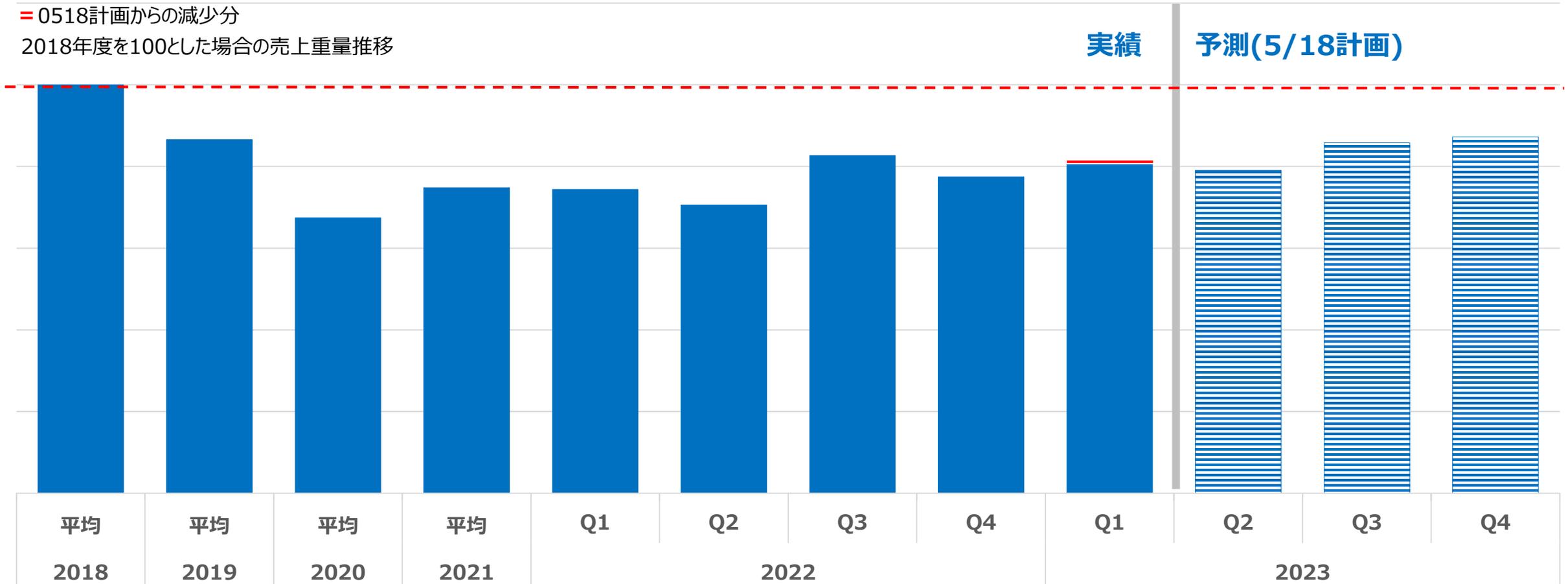
- 売上高： 受注量の回復及び円安の進行等により、売上高は前期比14.7%増。
売上重量は、半導体不足の緩和が進み各自動車メーカーの生産増を受け8.5%増。
- 営業利益： エネルギー費価格の上昇や中国ゼロコロナ政策解除における感染拡大等の影響があったが、グループ全体的に受注量の回復が進み、前年度第3四半期から黒字が定着化。
- 当期純利益： 円安進行による為替差益の計上等により増益。

売上重量推移

■ 半導体供給の安定化により自動車各社の生産が回復したことで売上重量は徐々に増加傾向。第1四半期の売上重量はほぼ計画通りに推移。

■ 0518計画からの減少分

2018年度を100とした場合の売上重量推移



ダイカスト事業

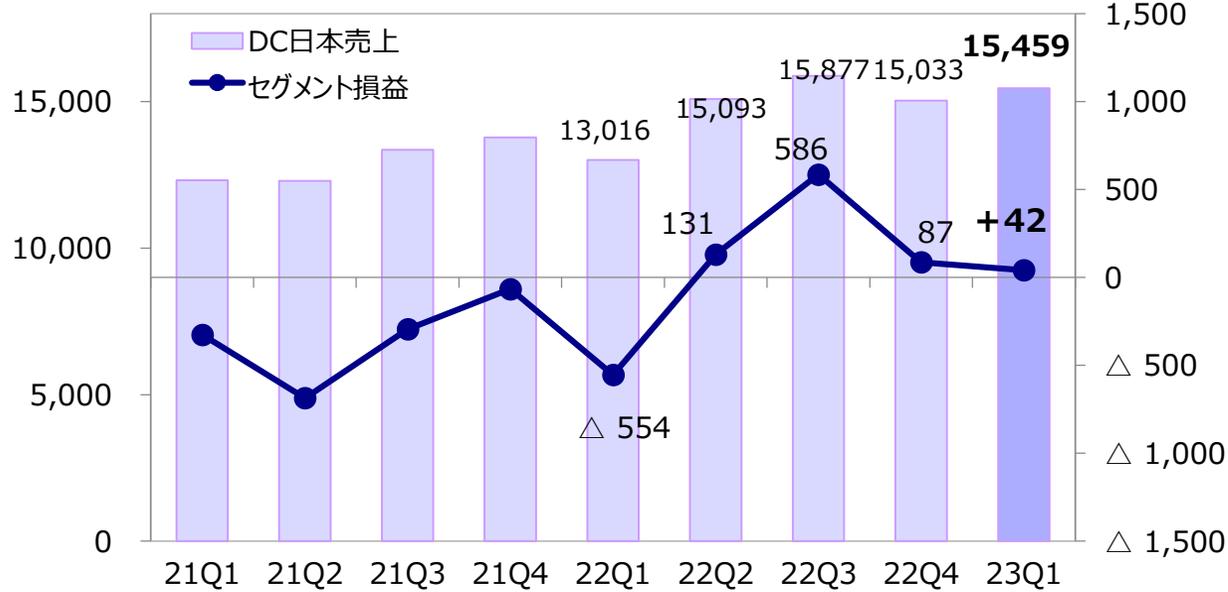
(単位：百万円)

		2022年度				2023年度 1Q	対前年度比 1Q
		1Q	2Q	3Q	4Q		
日本	売上高	13,016	15,093	15,877	15,033	15,459	+2,443
	セグメント 損益	△554	131	586	87	42	+596
北米	売上高	8,357	8,659	9,793	10,186	11,307	+2,950
	セグメント 損益	△441	△272	△213	250	405	+846
アジア	売上高	8,473	7,222	9,286	8,695	7,707	△ 766
	セグメント 損益	340	△590	273	△15	△ 617	△ 957

※ 北米セグメントのメキシコ工場及びアジアセグメントの中国2工場は12月決算となります。

ダイカスト日本

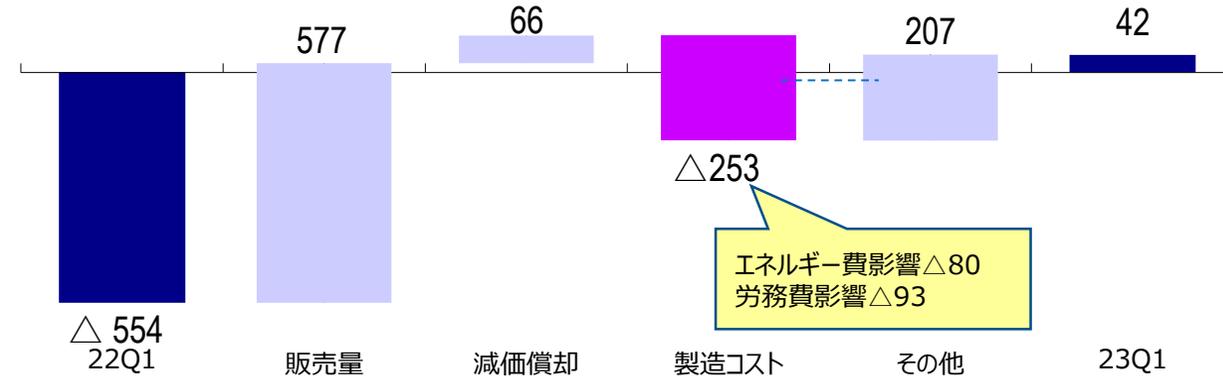
売上高/セグメント損益の推移 (単位:百万円)



売上重量の推移



セグメント損益増減要因 (単位:百万円)



売上 : 154億円 前年同四半期比+24億円 (+18.8%)

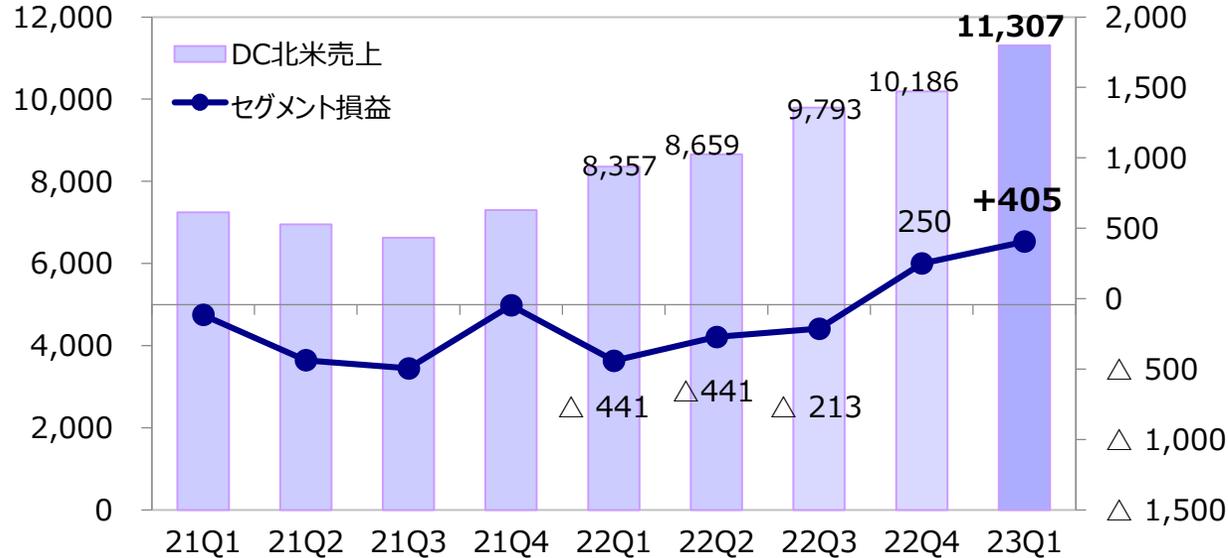
➢ 半導体供給の安定化により売上重量が回復し増収

損益 : 0.4億円 前年同四半期比+5.9億円 (黒字化)

➢ エネルギー費価格,労務費等の上昇による製造コスト増はあったものの、受注量回復に伴い黒字化

ダイカスト北米

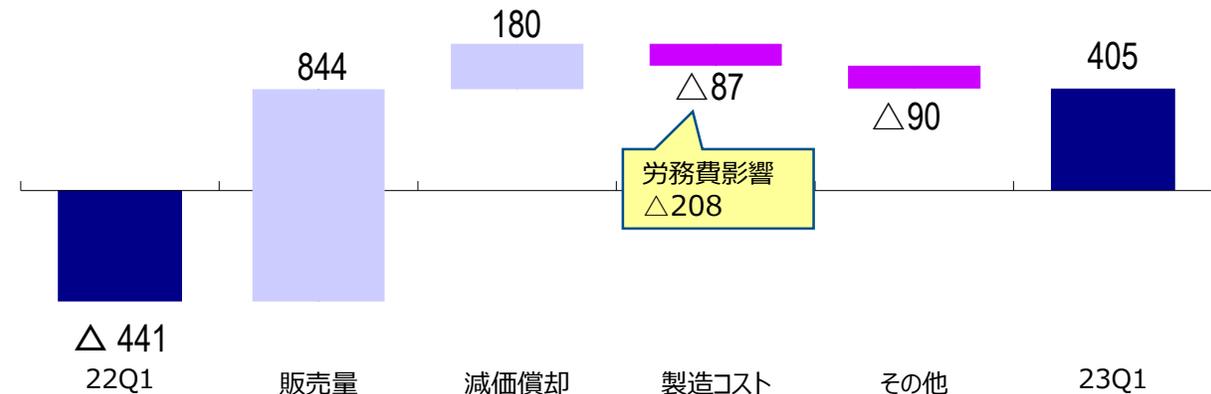
売上高/セグメント損益の推移 (単位:百万円)



売上重量の推移



セグメント損益増減要因 (単位:百万円)



売上：113億円 前年同四半期比+29億円 (+35.3%)

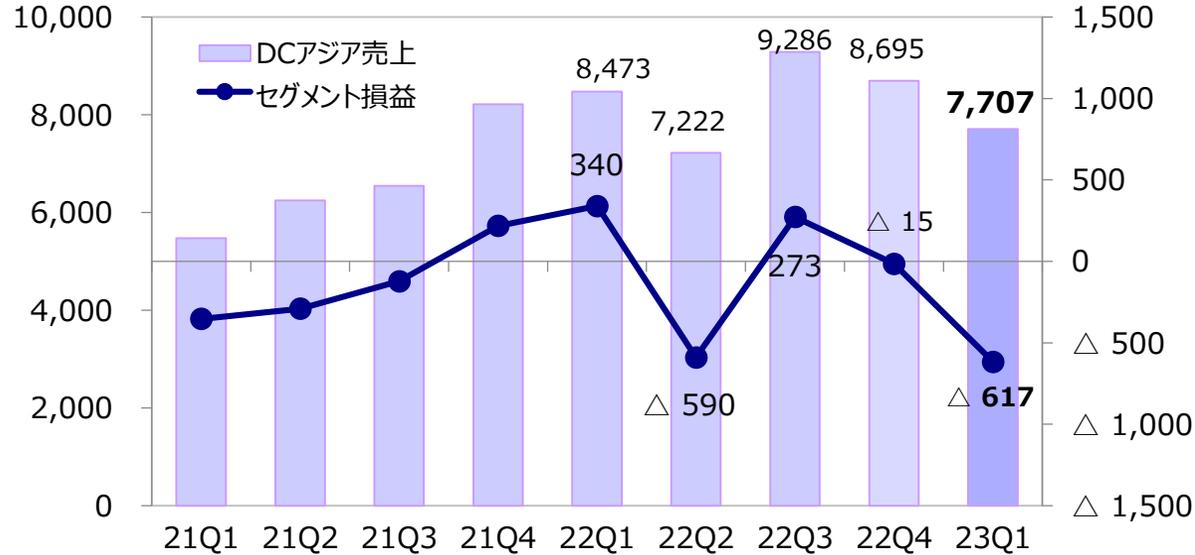
- 円安の進行及び半導体供給の安定化により売上重量が回復し増収

損益：4億円 前年同四半期比+8.4億円 (黒字化)

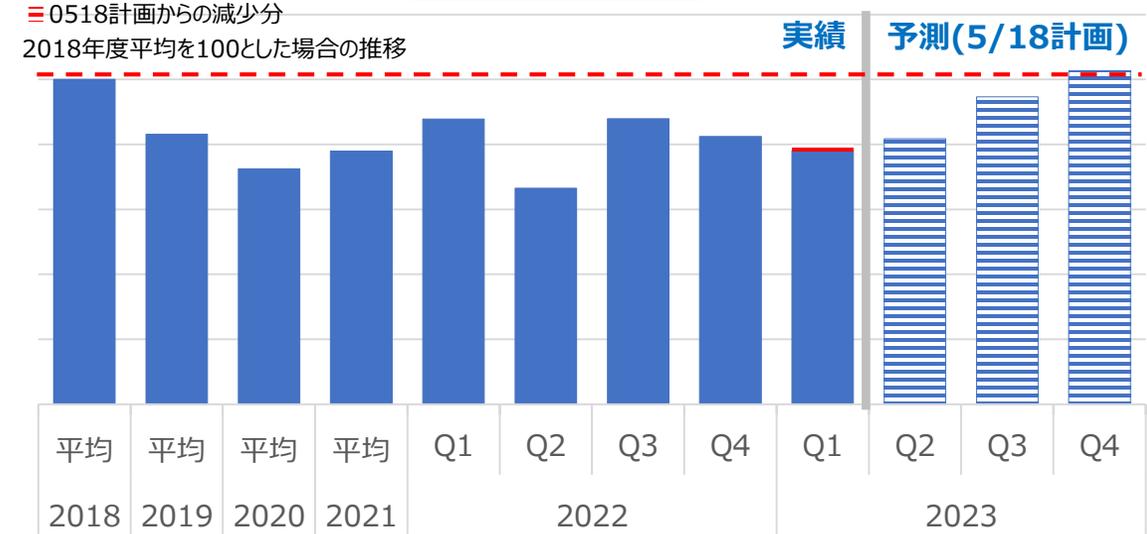
- 労務費等の上昇による製造コスト増はあったものの、受注量の回復、価格是正及び原価低減活動効果もあり、米国工場の収益拡大が寄与し大幅に増益

ダイカストアジア

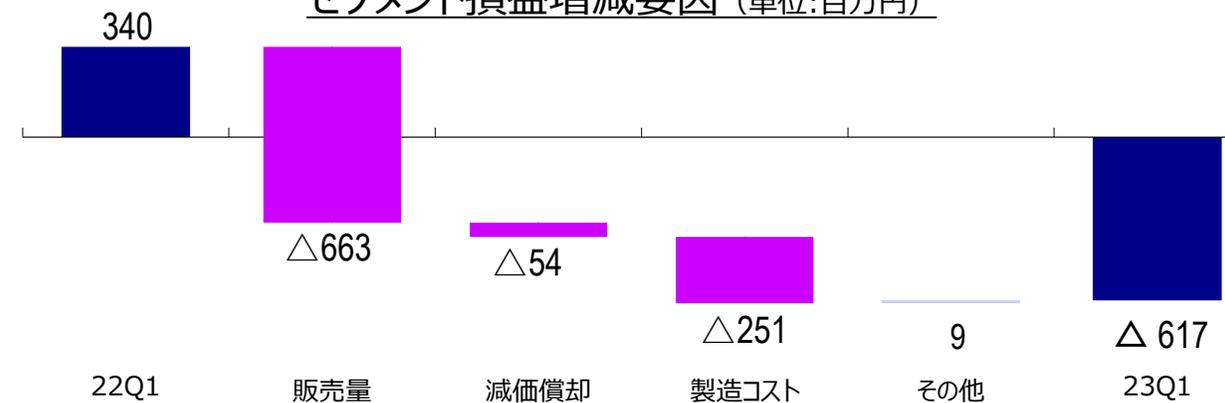
売上高/セグメント損益の推移 (単位:百万円)



売上重量の推移



セグメント損益増減要因 (単位:百万円)



売上：77億円 前年同四半期比△7億円 (△9.0%)

- インドの主要顧客の量産開始により増収したが、中国におけるゼロコロナ政策解除に伴う感染拡大及びEVの急速な普及による日系メーカーの販売不振により大幅に受注減

損益：△6億円 前年同四半期比△9.5億円 (前期比減)

- 労務費等の固定費圧縮を進めるも、上記大幅な受注減や一部製品の生産が安定しないことによるコスト高により収益悪化

アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2022年度				2023年度 1Q	対前年度比 1Q
		1Q	2Q	3Q	4Q		
アルミニウム 事業	売上高	2,100	1,820	2,107	1,947	1,842	△258
	セグメント 損益	82	70	83	39	55	△27
完成品 事業	売上高	1,165	629	780	697	1,679	+514
	セグメント 損益	90	21	46	127	174	+84

<アルミニウム事業>

- 売上：自動車関連の納入が減少したことによる販売重量の減少、昨年第1四半期より市況が1割弱下落したことによる減収。
- 損益：売上高の減少等により減益。

<完成品事業>

- 売上：主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件等の受注が増加、前期からずれ込んだ大型物件の売上計上により増収。
- 損益：個別受注物件の採算性の違いはあるが、安定的な利益を確保。

Topics : 主な搭載車種紹介

HEV

Toyota **PRIUS**

Power Control Unitのインバーターケースを日本で生産



TOYOTA PRIUS

BEV

Lexus **RZ450e**

Electricity Supply Unit (充電器+DC-DCコンバータ) のケースを日本・中国で生産

BEV

広州汽車 **AION Y**

EV用バッテリーの構造部材を中国で生産 (世界最大手のCATLに納入)



バッテリー構造部材

HEV

ICE

Subaru **CROSSTREK**

電動化部品ではモーターケースを日本で生産

Topics : 非自動車分野での取り組み

■完成品事業（モバフロア）

中国北京で大型物件を受注

- ✓ 中国大手半導体装置メーカー
北方華創科技集団股分有限公司
- ✓ クリーンルーム
約15,000㎡（約43,000枚）



モバフロア



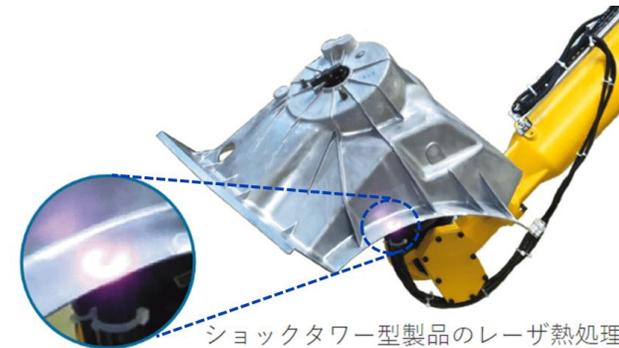
国内トップシェアを維持しつつ、
中国をはじめとしたアジア市場でも売上を拡大

Topics : 技術分野での受賞

■小野田賞(日本ダイカスト協会)

「CO2を1/10に低減するアルミニウム合金ダイカストのSPR接合用レーザー熱処理技術の開発」 2023年4月 特許取得(第7270056号)

主にボディ部品などの大型部品に対し、必要な部位のみを短時間で熱処理することで、CO2排出量や生産コストを低減できる技術



■技術賞(日本鑄造工学会)

「金型内容湯圧力の無線計測システムの開発」

不良の削減や品質保証に役立つ技術

■クボタ賞(日本鑄造工学会)

「高品位アルミニウム合金ダイカストの生産技術開発と自動車部品への展開及び学会運営への貢献」が評価され受賞



(左) クボタ賞受賞 : 青山俊三氏



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664

E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com

URL: <https://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。